

新 SD 9.0 規格仕様を公開 –セミアンベデッドメモリとして SD メモリカードの新用途へ

新たなセキュリティ機能で対応ホスト機器のブート、セキュアなデータ管理と「保守修理規則」対応

2022 年 5 月 18 日、カリフォルニア州サンラモン – SD アソシエーション (SDA) は本日、新しい SD 9.0 規格で 3 つの高度な セキュリティ機能追加 を発表しました。この 3 つの機能とは、ブートサポート、Trusted Computing Group (TCG) ストレージ、そして Replay Protected Memory Block (RPMB) 認証です。SD 9.0 規格の登場で機器メーカーは、様々なメモリやストレージ用途に SD メモリカードを利用できるようになり、将来的なアップグレード、修理の簡素化やカードが特定ホスト管理用途で厳格に制御されるアプリケーション用セキュリティ機能向上を実現できます。

SD 9.0 規格では、ファストブートおよびセキュアブート機能を定義し、カードがデバイスのブートコードメモリとして機能すると共に、シンプルかつ素早いブートコードアップロードとセキュアなブートコードアップデート機能を提供します。また、自己暗号化ドライブ機能を持つ TCG 規格対応のセキュアストレージ仕様ならびにセキュア認証プロセスを通じてのみアクセス可能なセキュアメモリとして RPMB 認証を規格化し、セキュアなブートコードアップデートや読出し・書込み要求コマンドのリプレイ攻撃防止機能を提供します。

SD 9.0 規格のこれら新機能に適した機器には Chromebook™、タブレット PC、ドローン、監視カメラ、車載カメラ、ゲーム機器、仮想現実 (VR) 用ヘッドセット／グラス、小型 IoT モジュール、そしてウェアラブル医療機器などが挙げられます。また、SD 9.0 規格は、製品メーカーの「保守修理規則」に対応し、非インターネット接続環境での機器のアップグレードや保守修理作業を簡素化します。

SD アソシエーションでプレジデントを務める坂本広幸氏は次のように述べています。「SD メモリカードは、ストレージとメモリの両面で魅力的な選択肢となります。対応機器のブートや SSD 並みの性能向上が可能である事に加え、対応機器の修理やアップグレードの簡素化を実現できるからです。SD 9.0 規格は製品メーカーが機器のメモリとストレージを検討する際、幅広い魅力ある選択肢を提供します。」

SD 9.0 規格で定義されたこれらのオプション機能は、microSDHC/SDXC/SDUC メモリカードとフルサイズ SDHC/SDXC/SDUC メモリカードに適用可能です。重要なポイントは、これら新機能がフルサイズ SD メモリカードで最大 4GB/秒のデータ転送速度を持つ SD Express メモリカードでサポートされるという点です。

SDA では、SD 9.0 規格の魅力的な新機能の詳細を記載した ホワイトペーパー をご用意しております。

SD アソシエーション

SD アソシエーションは、相互運用性がある SD 規格の策定に取り組む約 800 社のテクノロジー企業が連携協調する世界的エコシステムです。SD アソシエーションは、市場をリードする SD 技術を利用した家電、ワイヤレス通信、デジタル画像およびネットワーク製品の開発を促進しています。SD 規格は消費者に最も支持されており、信頼性の高い相互運用性と使いやすいフォーマットにより、メモリカード市場の 80%以上を占めています。現在、SD の相互運用性はスマートフォン、タブレット、ドローン、IoT デバイス、HDTV、オーディオプレーヤー、自動車、コンピューター、デジタルカメラ、およびデジタルビデオカメラで利用されています。SD アソシエーションまたは SD アソシエーションへの加盟方法に関する詳細につきましては、SD アソシエーションのウェブサイト(<https://www.sdcard.org>)をご覧ください。

SD のロゴは SD-3C LLC の登録商標です。

TCG のストレージ仕様の著作権と公開権は Trusted Computing Group®に属します。Trusted Computing Group の商標は、Trusted Computing Group の登録商標です。

Chromebook™は Google LLC の商標です。

###

報道関係者の方のお問い合わせ先

Kevin Schader

SD アソシエーション

1.925.275.6670

media@sdcard.org